



PRESS RELEASE

報道関係者各位

2016年6月29日

ハンファQセルズジャパン株式会社

ハンファ Q セルズジャパン

通り慣れた店で安心・気軽、太陽光発電はもっと身近な存在へ ホームセンター大手コメリのリフォーム全店で住宅用太陽光発電 システムの取り扱い開始

ハンファ Q セルズジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 キム・ジョンソ 以下「Qセルズ」）は、ホームセンター大手の株式会社コメリ（本社：新潟市南区、代表取締役社長 捧 雄一郎 以下「コメリ」）の全国のリフォームサービス店舗「コメリリフォーム」で、「Q CELLS 太陽光発電工事パック」が取り扱い開始となったことをお知らせいたします。



■ Q CELLS 太陽光発電工事パック

独自の「Q.ANTUM セル技術^{※1}」を用いた太陽電池モジュール「Q.PLUS-G4.1 シリーズ」とパワーコンディショナ、架台などの機器一式と標準取り付け工事、手続きまでがセットになり、お客様に負担をかけることなく住宅用太陽光発電システムの設置が可能な内容になっています。

※1 次ページ「参考資料」ご参照

コメリでは、既に店舗の屋上を利用した太陽光発電の売電収入による節電投資や、人に優しく、地球に優しい住まいのあり方としての「スマートハウス」の提案など、再生可能エネルギーの普及に関するさまざまな取り組みを行っています。このたび、Qセルズの住宅用太陽光発電システムの高い発電能力や手厚い保証体制などが、同社の提案する「スマートハウス」に有用と認められ、取り扱いが実現したものです。コメリでは、1,183 店舗^{※2}を全国展開していますが、まず 88 か所のリフォームサービス店舗を皮切りに順次取扱店を拡大していく予定です。

※2 2016年4月30日現在

当社では、通り慣れた店でお客様に太陽光発電を身近に感じていただき、リフォームをご検討の方が安心して、ご自宅へ設置していただける環境を提供することが、太陽光発電の普及を推進する新たなきっかけになると捉えています。

Qセルズは、環境先進国ドイツで培った経験と実績をもとに、永続的にクリーンな電力を提供できる太陽光発電システムの販売・発電事業を日本で展開しています。今後も、日本の住宅用屋根に適した太陽光発電システムを提供する体制を強化し、日本における再生可能エネルギーの柱である太陽光発電の普及と発展に寄与して参ります。



参考資料



Qセルズ独自の“Q.ANTUM セル技術”

セルの裏面に特殊なナノ・コーティングを施し、無駄になっていた太陽光のエネルギーを、セル内に閉じ込めることで活用度を高め、より多くの電気を生み出すことに成功。2011年には発電効率 19.5%を達成し、多結晶セルの世界新記録を樹立しています。また 2015 年には、「Solar Industry Awards」という世界の太陽光関係者 7 万人が投票して決める賞の「革新的なモジュール製造部門」で、Q.ANTUM 技術を使った Q.PLUS-G4 が優勝しました。

* Q.ANTUM テクノロジーについて http://www.q-cells.jp/products/pdt_quality/q-antum

【株式会社コメリについて】

1952 年（昭和 27 年）創業、東証一部上場のホームセンター業界大手（資本金 188 億 2 百万円、2016 年 3 月期の営業収益は 3,243 億 43 百万円）。全国でホームセンターおよびハード&グリーンのチェーンストアを 1,183 店舗（2016 年 4 月 30 日現在）経営している。PB 商品の開発・販売やカード会員の拡大などを通じて販売力を強化するとともに、住まいのさまざまな“お困りごと”を解決する「住急番」やリフォームなど、住まいと暮らし全般に関するサービスを展開している。リフォーム部門ではホームセンター業界最多の店舗数と年間 45,000 件以上の実績を誇る。

URL: <https://www.komeri.bit.or.jp/>

【ハンファQセルズジャパン株式会社について】

1984 年に韓国最大手企業であるハンファグループの日本法人として設立。2014 年 3 月に設立 30 周年を迎えた。太陽光発電関連事業（太陽光モジュール輸入販売、IPP 事業）をはじめ化学品、鉄工、機械・設備、自動車部品、IT 関連機器等、多分野にわたる基幹産業のアジア諸国間での輸出入業務と日本市場での販売事業を展開している。2011 年より日本の太陽光事業に参入し、2016 年 1 月現在で日本向けの出荷量累計 2GW、住宅設置数 10,000 棟を突破した。

URL: <http://www.q-cells.jp/>